

2022 年度に見直し期限が到来する JIS の計画リスト及び確認のリスト

産業標準化法に基づき、認定機関は、JIS を制定又は確認若しくは改正した日から少なくとも 5 年を経過するまでに、JIS の見直しを検討し当該 JIS を確認、改正又は廃止するか、主務大臣へ報告します。

このたび、一般社団法人日本鉄鋼連盟（JISF）は、2022 年度に見直し期限が到来する JIS の見直しを行いました。対象は、下記のとおりです。

その JIS を取り巻く周辺技術・基準がどのような状況にあり、その JIS に対しどのような対応（改正、廃止又は確認）を行うのがよいかを調査した結果に基づき、認定機関としての手続きを経た後、経済産業大臣へ JIS の確認、改正又は廃止に関する申出を行います。

計画リストについては、産業標準作成委員会である鋼材規格三者委員会及び原料規格三者委員会において既に審議され承認されていますが、確認とする規格については、そのリストの審議をあらためて行います。

対象

2017 年度（2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日）に、制定、改正又は確認の公示がされた JIS のうち、主務大臣が経済産業大臣で、JISF の認定範囲内にある JIS（規格数 40）。

調査結果

次ページのとおり、申出する計画です。また、確認とする一覧表を示します。

2021年度JISの見直し調査:計画リスト

個別 No.	書誌情報						参照文書 (JSA調査結果)			原案作成団体記入欄 (1)											
	規格番号	規格名称	最新 公示		原案作成団体 団体 1	主務 大臣	専門 委員会	対応国 際規格	引用JIS	引用国 際規格	規格改正必要性の有無								対応 方針	対応方針を決めた理由	対応国際 規格整合 予定
			種類	年月日							a)	b)	c)	d)	e)	f)	g)	h)			
1	JIS G 0321:2017	鋼材の製品分析方法及びその許容変動値	改正	2017/6/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	25	関連分科会にて審議・承認済		
2	JIS G 0589:2013	鋼管の全周自動超音波厚さ検査方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	-	●	-	●	-	●	-	-	26	2023年度改正予定	MOD	
3	JIS G 1211-4	鉄及び鋼—炭素定量方法—第4部:表面付着・吸着炭素除去—燃焼—赤外線吸収法	改正	2017/6/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	×	-	-	-	-	-	-	-	-	25	対応国際規格の改正が軽微であり、JISの規定に沿った日本提案を織り込んでいるため。関連分科会にて審議・承認済。	MOD	
4	JIS G 1212:1997	鉄及び鋼—けい素定量方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	×	-	-	●	-	-	-	-	26	2023年度改正の申出予定	MOD	
5	JIS G 1217	鉄及び鋼—クロム定量方法	改正	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	×	×	-	-	-	-	-	-	-	25	技術的に変更必要な箇所はなく、関連分科会にて審議・承認済	MOD	
6	JIS G 1219:1997	鉄及び鋼—銅定量方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	×	-	-	●	-	-	-	-	26	2024年度改正の申出予定	MOD	
7	JIS G 1223:1997	鉄及び鋼—チタン定量方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	×	◎	-	-	●	-	-	-	-	26	2025年度改正の申出予定	MOD	
8	JIS G 1237	鉄及び鋼—ニオブ定量方法	改正	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	25	関連分科会で審議・承認済		
9	JIS G 1253	鉄及び鋼—スパーク放電発光分光分析方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	-	-	-	●	-	-	-	-	26	対応国際規格の新規提案中であり、この結果を基にJISも改正する予定		
10	JIS G 1256	鉄及び鋼—蛍光X線分析方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	25	関連分科会で審議・承認済		
11	JIS G 3120:2018	圧力容器用調質型マンガンモリブデン鋼及びマンガンモリブデンニッケル鋼鋼板	改正	2018/3/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	-	●	-	-	-	-	-	-	12		MOD	
12	JIS G 3124:2017	中・常温圧力容器用高強度鋼鋼板	改正	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	-	●	-	-	-	-	-	-	11			
13	JIS G 3127:2013	低温圧力容器用ニッケル鋼鋼板	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	-	●	-	●	-	-	-	-	10		MOD	
14	JIS G 3129:2018	鉄塔用高張力鋼鋼材	改正	2018/3/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	25	関連分科会で審議・承認済		
15	JIS G 3429:2018	高圧ガス容器用継目無鋼管	改正	2018/2/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	-	●	-	-	-	●	-	-	11	2021年10月申出済	提無	
16	JIS G 3446:2017	機械構造用ステンレス鋼鋼管	改正	2017/8/21	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	-	●	-	-	-	●	-	-	11	2021年12月三者委員会審議、2022年2月申出予定	提無	
17	JIS G 3460:2018	低温配管用鋼管	改正	2018/2/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	×	-	●	-	-	-	●	-	-	11	2021年12月三者委員会審議、2022年2月申出予定	MOD	
18	JIS G 3464:2018	低温熱交換器用鋼管	改正	2018/3/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	×	-	●	-	-	-	●	-	-	26	2023年度改正予定	MOD	
19	JIS G 3467:2013	加熱炉用鋼管	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	-	●	-	-	-	●	-	-	12	2022年度改正予定	提未	

20	JIS G 3472:2018	自動車構造用電気抵抗溶接炭素鋼鋼管	改正	2018/2/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	-	●	-	-	-	●	-	-	-	11	2021年10月申出済	提無
21	JIS G 3473:2018	シリンダチューブ用炭素鋼鋼管	改正	2018/2/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	-	●	-	-	-	●	-	-	-	11	2021年10月申出済	提無
22	JIS G 3477-1:2018	ポリエチレン被覆鋼管—第1部:外面3層ポリエチレン押出被覆鋼管	改正	2018/3/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	×	●	-	-	-	●	-	-	-	12	2022年度改正予定	提未
23	JIS G 3477-2:2018	ポリエチレン被覆鋼管—第2部:外面ポリエチレン押出被覆鋼管	改正	2018/3/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	×	●	-	-	-	●	-	-	-	12	2022年度改正予定	提未
24	JIS G 3477-3:2018	ポリエチレン被覆鋼管—第3部:外面ポリエチレン粉体被覆鋼管	改正	2018/3/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	×	●	-	-	-	●	-	-	-	12	2022年度改正予定	提未
25	JIS M 8215-1:2006	鉄鉱石—マンガン定量方法—第1部:原子吸光法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	-	-	-	●	-	-	-	-	-	12	2022年度改正予定	MOD
26	JIS M 8215-2:2006	鉄鉱石—マンガン定量方法—第2部:過よ硫酸吸光光度法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	◎	-	-	●	-	-	-	-	-	26	関連分科会で承認済。2028年度改正予定。	IDT
27	JIS M 8218:1997	鉄鉱石—銅定量方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	-	-	-	●	-	-	-	-	-	26	関連分科会で承認済。2026年度改正予定。	MOD
28	JIS M 8219-1:2012	鉄鉱石—チタン定量方法—第1部:原子吸光法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	追補改正作業中、2022年度に申出予定	
29	JIS M 8219-2:2012	鉄鉱石—チタン定量方法—第2部:ジアンチピリルメタン吸光光度法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	関連分科会で承認済	MOD
30	JIS M 8223:1997	鉄鉱石—ニッケル定量方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	×	-	-	-	●	-	-	-	-	-	26	関連分科会で承認済。2027年度改正予定。	MOD
31	JIS M 8224:1997	鉄鉱石—クロム定量方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	×	-	-	-	●	-	-	-	-	-	26	関連分科会で承認済。2027年度改正予定。	MOD
32	JIS M 8227:1997	鉄鉱石—わず定量方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	-	-	-	●	-	-	-	-	-	26	関連分科会で承認済。2025年度改正予定	MOD
33	JIS M 8228:1997	鉄鉱石—亜鉛定量方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	-	-	-	●	-	-	-	-	-	26	関連分科会で承認済。2028年度改正予定。	MOD
34	JIS M 8229:1997	鉄鉱石—鉛定量方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	26	関連分科会で承認済。2028年度改正予定。	MOD
35	JIS M 8514:2003	鉄鋼用ほたる石—分析方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	関連分科会で承認済	MOD
36	JIS M 8700:2013	鉄鉱石及び還元鉄—用語	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	×	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	25	関連分科会で承認済	IDT
37	JIS Z 2243-1:2018	ブリネル硬さ試験—第1部:試験方法	制定	2018/2/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	◎	◎	-	-	●	-	-	-	-	-	26	この規格は、ISO IDTであるが、ISO規格の改訂検討は、これから開始されるため、暫定確認とする。2023年度改正予定。	IDT
38	JIS Z 2243-2:2018	ブリネル硬さ試験—第2部:硬さ値表	制定	2018/2/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	26	この規格は、ISO IDTであるが、ISO規格の改訂検討は、これから開始されるため、暫定確認とする。2023年度改正予定。	IDT
39	JIS Z 2254:2008	薄板金属材料の塑性ひずみ比試験方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	-	-	-	●	-	-	-	-	-	10	今年度改正公示完了	MOD
40	JIS Z 2276:2012	金属材料の引張りラクセーション試験方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	-	-	-	●	-	-	-	-	-	26	ISO規格は、PC鋼材だけを対象としているが、対象を広げる改訂計画が進行中のため。JISは、ISO規格改訂後の2026年度改正予定。	MOD

2021年度JISの見直し調査:確認リスト

個別 No.	書誌情報						参照文書 (JSA調査結果)			原案作成団体記入欄 (1)											
	規格番号	規格名称	最新 公示		原案作成団体 団体 1	主務 大臣	専門 委員会	対応国 際規格	引用JIS	引用国 際規格	規格改正必要性の有無								対応 方針	対応方針を決めた理由	対応国際 規格整合 予定
			種類	年月日							a)	b)	c)	d)	e)	f)	g)	h)			
1	JIS G 0321:2017	鋼材の製品分析方法及びその許容変動値	改正	2017/6/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	25	関連分科会にて審議・承認済		
2	JIS G 0589:2013	鋼管の全周自動超音波厚さ検査方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	-	●	-	●	-	●	-	-	26	2023年度改正予定	MOD	
3	JIS G 1211-4	鉄及び鋼—炭素定量方法—第4部:表面付着・吸着炭素除去—燃烧—赤外線吸収法	改正	2017/6/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	×	-	-	-	-	-	-	-	-	25	対応国際規格の改正が軽微であり、JISの規定に沿った日本提案を織り込んでいるため。関連分科会にて審議・承認済。	MOD	
4	JIS G 1212:1997	鉄及び鋼—けい素定量方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	×	-	-	●	-	-	-	-	26	2023年度改正の申出予定	MOD	
5	JIS G 1217	鉄及び鋼—クロム定量方法	改正	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	×	×	-	-	-	-	-	-	-	25	技術的に変更必要な箇所はなく、関連分科会にて審議・承認済	MOD	
6	JIS G 1219:1997	鉄及び鋼—銅定量方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	×	-	-	●	-	-	-	-	26	2024年度改正の申出予定	MOD	
7	JIS G 1223:1997	鉄及び鋼—チタン定量方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	×	◎	-	-	●	-	-	-	-	26	2025年度改正の申出予定	MOD	
8	JIS G 1237	鉄及び鋼—ニオブ定量方法	改正	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	25	関連分科会で審議・承認済		
9	JIS G 1253	鉄及び鋼—スパーク放電発光分光分析 方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	-	-	-	●	-	-	-	-	26	対応国際規格の新規提案中であり、この結果を基にJISも改正する予定		
10	JIS G 1256	鉄及び鋼—蛍光X線分析方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	25	関連分科会で審議・承認済		
11	JIS G 3129:2018	鉄塔用高張力鋼鋼材	改正	2018/3/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	25	関連分科会で審議・承認済		
12	JIS G 3464:2018	低温熱交換器用鋼管	改正	2018/3/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	×	-	●	-	-	-	●	-	-	26	2023年度改正予定	MOD	
13	JIS M 8215-2:2006	鉄鉱石—マンガン定量方法—第2部: 過よう素酸吸光度法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	◎	-	-	●	-	-	-	-	26	関連分科会で承認済。2028年度改正予定。	IDT	
14	JIS M 8218:1997	鉄鉱石—銅定量方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	-	-	-	●	-	-	-	-	26	関連分科会で承認済。2026年度改正予定。	MOD	
15	JIS M 8219-2:2012	鉄鉱石—チタン定量方法—第2部: ジアンチピリルメタン吸光度法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	×	-	-	-	-	-	-	-	-	25	関連分科会で承認済	MOD	
16	JIS M 8223:1997	鉄鉱石—ニッケル定量方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	×	-	-	-	●	-	-	-	-	26	関連分科会で承認済。2027年度改正予定。	MOD	
17	JIS M 8224:1997	鉄鉱石—クロム定量方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	×	-	-	-	●	-	-	-	-	26	関連分科会で承認済。2027年度改正予定。	MOD	
18	JIS M 8227:1997	鉄鉱石—すず定量方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	-	-	-	●	-	-	-	-	26	関連分科会で承認済。2025年度改正予定	MOD	
19	JIS M 8228:1997	鉄鉱石—亜鉛定量方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	-	-	-	●	-	-	-	-	26	関連分科会で承認済。2028年度改正予定。	MOD	

20	JIS M 8229:1997	鉄鉱石—鉛定量方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	関連分科会で承認済。2028年度改正予定。	MOD
21	JIS M 8514:2003	鉄鋼用ほたる石—分析方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	25	関連分科会で承認済	MOD
22	JIS M 8700:2013	鉄鉱石及び還元鉄—用語	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	×	◎	-	-	-	-	-	-	-	25	関連分科会で承認済	IDT
23	JIS Z 2243-1:2018	ブリネル硬さ試験—第1部:試験方法	制定	2018/2/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	◎	◎	-	-	●	-	-	-	-	26	この規格は、ISO IDTであるが、ISO規格の改訂検討は、これから開始されるため、暫定確認とする。2023年度改正予定。	IDT
24	JIS Z 2243-2:2018	ブリネル硬さ試験—第2部:硬さ値表	制定	2018/2/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	◎	-	-	-	-	●	-	-	-	-	26	この規格は、ISO IDTであるが、ISO規格の改訂検討は、これから開始されるため、暫定確認とする。2023年度改正予定。	IDT
25	JIS Z 2276:2012	金属材料の引張りラクセーション試験方法	確認	2017/10/20	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	経産	金属・無機 材料技術	×	×	-	-	-	●	-	-	-	-	26	ISO規格は、PC鋼材だけを対象としているが、対象を広げる改訂計画が進行中のため、JISは、ISO規格改訂後の2026年度改正予定。	MOD

改正が必要な要因	
a)	市場実態又は技術動向に合わせ、最適な技術内容とすべく、規定内容の変更が必要
b)	社会的要因で規定内容の変更が必要(環境問題など)
c)	対応国際規格の改正又は廃止があり、規定内容の変更が必要
d)	対応すべき国際規格が新たに制定され、それに整合することが必要
e)	引用規格の改正及び/又は廃止があり、規定内容の変更が必要
f)	引用すべきJISが新たに制定された
g)	引用(参照)法規の改正及び/又は廃止があり、規定内容の変更が必要
h)	引用(参照)すべき法規が新たに制定された

記号	内容
10	今年度“改正”公示された。
11	規格改正のための作業は終了し、主務大臣に対して、改正申出済み。又は、今年度中に申出を行う予定のもの。 申出実施時期などを、“対応方針を決めた理由”欄にご記入下さい。
12	5年見直しに合わせ、改正作業を行っており、かつ、主務大臣に対する改正申出を、 来年度中に行う予定 のもの。 改正の主たる理由、改正申出予定時期などを“対応方針を決めた理由”欄にご記入下さい。
20	今年度“確認”公示された。
25	規格の改正及び廃止の必要がなく、5年見直しとして、“ 確認 ”を要望する。 (確認でよいとする理由を“対応方針を決めた理由”欄に記入して下さい。)
26	次のような場合には、“ 暫定的確認 ”を要望する。 ・改正原案作成を開始している／開始することとしているが、主務大臣に対する改正申出予定時期が再来年度以降となる場合。 ・調査対象JISを別のJISへ移行させる計画がある場合で、移行予定JISの制定又は改正の申出時期が再来年度以降になる場合 ・対応国際規格が改正作業中であり、その結果を待ってJIS改正作業を開始する予定の場合。 暫定的確認とした主たる理由及び今後の予定などを、“対応方針を決めた理由”欄に記入して下さい。